

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンピース				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	2つの部屋（大部屋・小部屋）を活用して、必要に応じて個別対応できるようにしている。	プログラム活動時などの一部においては、個別の部屋を使用できない状況があるので、より綿密な打ち合わせやコミュニケーションを行なうことで、必要時は個別対応できるように検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0			

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	振り返りや気づいた点等は随時グループワークを活用して共有したり、定期的にミーティングを行なっている。	各職員の都合によって退勤時間が異なるため、支援終了後の打ち合わせを必ず行なうことはできていません。その日行った支援が次回以降により活かしていけるように体制を検討します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	利用者の少ない時間に児童館へ遊びに行ったり、南チロル堂主催の地域イベントに参加したり等スモールステップで取り組んでいます。	機会の頻度は少ないので、開催頻度や内容について検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	BCP計画を策定し、必須研修をはじめ、必要に応じた研修を行なっています。	毎年決まった時期に行なうことが多いため、入社時期や年数によって知識や情報に偏りが生じる可能性があります。今後の検討課題とします。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			

※「はい」「いいえ」以外の回答は、「どちらともいえない」でした。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンピース

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 60人

回収数 28人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	3	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	15	5	0		地域交流について望まれる方と望まれていない方がいらっしゃるので、多くの機会は設けていません。今後もそれぞれの方にご満足して頂けるように機会を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	2	0		放課後等デイサービス計画（個別支援計画）について、面談を通して対面で説明する場合と書面にてお渡ししている場合がございます。対面での説明や内容について質問や改善点等ありましたらお気軽にお申し付けください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	4	0	0		LOOP活動の中で、ご家族の方と一緒に学ぶ研修会や進路について情報提供する機会を設けました。開催頻度や内容については今後の課題として検討致します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	1	0		当日の様子や日頃の様子は、ラクソウまたは公式LINEでお伺いしています。より共通理解が深まるようにより丁寧な対応と情報共有に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	4	0	0		年1回の面談の機会を設けていますが、ご要望があればいつでもお話する機会を設定していますので、お気軽にご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1	0	0		

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	8	1	0		L00P活動の中で、保護者様同士の交流の機会を設けたり、インフェス等のきょうだい児も参加できるイベントを開催しています。開催頻度や内容については今後の検討課題です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	0	1	0	未回答1人	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	0	0		

・いつも娘に寄り添って頂きありがとうございます。楽しいみたいでワンピースに行きたいと言っています。体調面が不安定でなかなか最後まで預けられない事も多いですが、今後も宜しくお願いします。先生が大好きなのでもし移動だったり退職の際は教えて頂けたら、事前に娘に伝えておけるので助かります。	こちらこそいつもご理解ご協力頂きありがとうございます。職員の異動や退職については、様々な観点からあまり事前告知をしていないのが現状です。ただしお子様のお気持ち等を考慮して事前告知することは個別で対応できますので、個別でご相談下さいませお願いいたします。
---	--

・困り事がある時はいつも相談に乗っていただいたり、預かり時間なども考慮していただいて助かっています。いつもありがとうございます。	温かい言葉を頂きありがとうございます。今後もご本人や家族の皆様をサポートできるように精一杯努めますので、いつでもお気軽にご相談ください。
--	--

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンピース		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

○分析結果 1

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。 (応用行動分析(ABA)を用いた療育)	ABA療育の有資格者を中心に療育についての話し合いを重ね、より良い支援に向けて日々取り組んでいます。また、年3回のABAコンサルティングや定期的に研修を受けています。	保護者との面談やモニタリング・支援会議等で、保護者様や各関係機関に対して応用行動分析を用いた療育やアプローチ方法を共有する事で、統一した支援を行なっていきます。
2	子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。 (伸ばしたい能力の違いでグループ別活動)	SSTや就労に向けての取り組み(同法人内の就労継続支援B型事業所での活動)・公共交通機関を用いたの外出などをプログラムに組み込んでいます。	来年度同法人内で開所する自立訓練事業所との連携も図ることで、より幅広く伸ばしたい能力や必要な療育に取り組んでいきます。
3	子どもにとって安心感があり、通所が楽しみな居場所となっている。	専門的な支援や療育を大事にしつつ、子どもたちが「できた!」「わかった!」「やってみよう!」と自己肯定感や成功体験を積み重ねていけるように、日々の支援や声掛けを行なっています。	安心感が持てるような継続的アプローチと、ワクワク楽しみになるようなプログラム設定をし、通っているすべての子どもたちがイキイキと過ごせるように支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のほかの子どもとの交流が少ない。	児童館へ行くプログラムや、地域のお祭りのイベントへ行くプログラム機会などを設けていますが、設定頻度は少ないです。地域のほかの子どもとの交流を望まないご意見も頂いているので、望まれている方のみが参加できるように申込制で設定しています。	地域交流を望んでいる方・望んでいない方それぞれの方に配慮したプログラムを設定し、様々な形で地域交流方法を模索していきます。
2	父母の会や保護者会開催等により保護者同士の交流の機会やきょうだい向けイベント等開催によりきょうだい児同士の交流の機会が少ない。	L00P活動で保護者同士の交流の機会を設けたり、インフェスプログラムやL00P講演会等できょうだい児の参加受け入れたりしていますが、機会は少ないです。	より多くの保護者様やきょうだい児が参加できるような機会やプログラム設定をしていきます。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報の機会が少ない。	L00P活動でご家族様向けの研修会を行ったり、外部研修のチラシ案内を添付したりしていますが、機会は少ないです。	より多くの保護者様が参加できるような研修会や情報提供が行なえるように情報収集・発信をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンステップ				公表日	令和8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	現在はバリアフリー対象のお子様の受け入れはありませんが、今後の状況に応じて環境や支援体制を整え、適切に対応していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	様々な研修を実施しています。義務研修以外にも随時案内がありますので、希望される場合は各自でお申し込みしていただければと思います。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	保護者様や利用児本人が希望されていないケースもあるため、積極的に機会を設けることはしていませんが、実施する場合は慎重に検討が必要だと感じています。 ここ数年は地域のお祭りに参加する機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	LOOPにて勉強会等、保護者様との交流の場を設けています。きょうだい同士での交流の場はご希望に合わせて検討していきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	法人として地域交流の取り組みはありますが、事業所としての機会はあまりありません。保護者様やお子様本人がご希望されていないケースもありますので、慎重に検討しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			

※ 「はい」「いいえ」以外の回答は、「どちらともいえない」でした。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
ワンステップ		令和8年3月31日						
		利用児童数 66人			回収数 37人			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	3	0	0		プログラムや活動内容によって部屋を分ける等の工夫を行っております。今後もお子様安心して過ごせる環境を維持できるよう努めてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	3	0	0		職員の配置につきましては基準を十分満たしております。ご質問等ございましたらいつでもお問い合わせください。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	5	1	0		現在はバリアフリー対象のお子様の受け入れはありませんが、今後の状況に応じて環境や支援体制を整え、適切に対応していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	1	0	0			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1	0	0	未回答1人	プログラムに関してのご質問等ありましたらいつでもお問合せください。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	2	0	0		アセスメントシート等を用いたり、保護者様と面談をさせていただいたりしながら個別支援計画を作成しております。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1	0	0		ガイドラインに基づき、すべての項目について設定しております。アセスメントや面談で聞き取りをさせていただき、利用計画を踏まえて具体的に設定するように心がけております。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1	0	0		継続的に取り組むことが必要なプログラムもございますが、どの曜日にも様々なプログラムを実施できるよう設定させていただいております。今後もお子様楽しんで参加できるよう工夫してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	20	2	0		保護者様やお子様ご希望されておられないケースもありますので、慎重に検討させていただいております。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1	0	0		疑問点やご質問等ございましたらいつでもお問い合わせください。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	4	0	0		Loopにて勉強会や講演会等を実施させていただいております。今後もたくさんの方にご参加いただけますよう、開催の案内については積極的に追声掛けさせていただきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	0		その日の活動内容や様子についてはラクソウにて連絡帳をお送りさせていただいております。また気になる点があった場合には個別でご連絡させていただいているケースもございます。今後も何か気になることがございましたら遠慮なくおっしゃってください。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	3	0	0		年に一度、面談を実施させていただいておりますが、その他随時面談のご希望（様子を聞きたい・相談がある等）がございましたら、いつでも機会をもたせていただきます。遠慮なく申し出ください。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1	0	0		ご意見等ございましたら遠慮なくおっしゃってください。	

19 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	13	2	0		Loopにて茶話会や勉強会等を実施させていただいております。ご希望がございましたら、保護者様同士や職員との交流の場だけでなく、きょうだい向けの交流の場を設ける等も検討させていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	3	0	0		面談のご希望があれば随時受付けていただいております。また必要に応じてお子様ご本人と機会を設けさせていただく場合もございます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	0		ご意見や疑問等ありましたらいつでもお問合せ下さい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	2	0	0		日常の活動についてはInstagramにて様子や情報を発信させていただいておりますので、よろしければご覧になっていただければと思います。また、自己評価の結果についてはHPにて公表させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	0		
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	3	0	0		公式LINEにて感染症対応や緊急時対応についてはお知らせさせていただいております。また、定期的に職員研修を実施し、避難訓練も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	2	0	0		学期ごとに避難訓練プログラムを実施させていただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	2	0	0		マニュアルを作成させていただいており、様々な訓練や研修等を定期的に行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	6	0	0		お子様に怪我等がございましたら速やかにご連絡させていただき、ご説明させていただいておりますが、万が一、わかりにくいことやご心配等ございましたら遠慮なくおっしゃってください。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	1	0	0	未回答1人	いつも保護者の方にはご協力いただき、感謝申し上げます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	3	0	0		お子様が安心できる、楽しい場を提供できるよう、今後も職員一同より一層努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	0	0	0	未回答1人	保護者様からのご意見を踏まえ、今後も安心してご利用いただけるよう職員一同より一層努力してまいります。

保護者様からのコメント	事業所よりコメント
・いつもありがとうございます。様々な活動を提案いただき、戸外での活動も積極的に行っておられ楽しんで知見を増やすことができていると感じています。これからもよろしく申し上げます。	いつもご利用ありがとうございます。今後も様々な経験や成功体験を積み重ねることができるようプログラムを設定していきます。
・いつもありがとうございます！！	こちらこそ、いつもありがとうございます。
・本人だけでなく、家族への共感や理解があり、心強く、安心して子育てできています。トラブル時やイベント時も、ラインやラクソウでのお知らせをいただき、学校と連携を取りやすい情報共有に、感謝しています。誠実な組織だと感じています。	こちらこそ、いつもご理解ご協力を賜りありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう、職員一同より一層努力してまいります。
・いつもありがとうございます。子供も楽しんで通っていてとても感謝しています。これからもよろしくおねがいいたします。	こちらこそ、いつもありがとうございます。今後もお子様が安心して楽しく過ごせる環境を提供できますよう、より一層努力してまいります。
・地域のお子さんとの交流等は、私は求めていないので、「分らない」と回答しました。事業所の先生方には、親子とも、大変お世話になっており、支えていただいております。まだ先ですが、小学校を卒業する時期が来て、本人が忙しくなっても、通える範囲でずっと通わせていただきたいと思っております。	こちらこそ、いつもご理解ご協力を賜りありがとうございます。今後もお子様が安心して楽しめる環境で楽しみながら過ごすことができるような場を設けていきます。
・いつも子供達が楽しめる色々なプログラムを考えていただき、ありがとうございます。	いつもご利用ありがとうございます。今後もお子様が様々な経験を積んでいくことができるようなプログラムを設定していきます。
・いつも大変お世話になりありがとうございます。子どもが通うのを毎回楽しみにしています。先生方にとっても丁寧に関わっていただけて感謝でいっぱいです。利用後のフィードバックも丁寧で、どのように過ごしていたかよく伝わってきます。ただそのフィードバックに写真を添付していただくと大変ありがたいです。また年に1度でも参観のような機会があれば良いなあと思います。（普段の様子も見たいですし、子どもたちが発表する機会があってもいいのでは）また、人数の制限など厳しいと思いますが、参加したかったプログラムに参加できないときは残念でした。これからもよろしく申し上げます。	いつもご利用ありがとうございます。また、貴重なご意見ありがとうございます。参観や保護者様参加型のプログラムについては、現在実施方法や時期についてを前向きに検討中です。ご利用定員数の件ではご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。今後どうぞよろしく申し上げます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンステップ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 11日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2026年 2月 11日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	課題に応じた小集団プログラムを実施している。	通常の集団プログラムに加えて、様々な課題や目的に応じた小集団プログラムを実施しています。	今後もそれぞれの課題やニーズ、時代の流れに沿ったアプローチや支援が行なえるように、日々のアセスメントを丁寧に行ないながら支援していきます。
2	保護者様と利用児本人の両方へアプローチを行なっている。	利用児本人への支援だけでなく、保護者様に対してはデイ利用の当日の様子をアプリにて細かく丁寧に伝えたり、気になることや相談事等のご要望があればお電話やLINEでお聞きしたり、面談の機会を設けたりしています。	今後もお子様、保護者様が安心して通所できるよう職員間で連携をしながら丁寧な支援を行なっていきます。
3	固定化されないように様々なプログラムを設定している。	お子様が楽しみながら経験を積んだりチャレンジしたりすることができるように、ねらいやリスク等も考慮しながら新しいプログラムも積極的に取り入れられるように心がけています。	継続的な取り組みが必要なプログラムもありますが、今後も様々なプログラムを設定し、様々な角度から支援を行なっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どものとの交流の機会が少ない。	児童館に行くプログラムや地域のお祭りに参加するプログラム等を設定させていただくことはありますが、年1、2回程度と機会は少ないです。 地域の子どものとの交流を望まれない保護者様やお子様がおられるため、どのように設定していくか検討して行く必要があると考えています。	地域の子どものとの交流を希望されている方、されていない方それぞれに配慮したプログラムを設定し、地域交流の方法や機会を広げていきたいと考えています。
2	父母の会や保護者会等の開催による保護者同士の交流の機会、きょうだい向けイベント等による、きょうだい同士の交流の機会が少ない。	L00P活動にて保護者様同士の交流の機会を設けていますが、機会は少ないです。 また、きょうだい向けイベント等、きょうだい同士の交流の機会につきましてはご希望がありましたら検討させていただきます。	ニーズに合わせてより多くの保護者様やきょうだい児が参加できるように機会を設定していきます。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	L00P活動にてご家族向けの研修会や情報提供等を行なうことはありますが、機会は少ないです。	研修会の設定や情報提供等を行ない、より多くの保護者様やご家族が参加できるように事業所としても情報収集を行なっていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
フントゥーワン児童発達		令和8年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0		例年、支援センターの方が見学に来て下さっていましたが、今年度は機会がありませんでした。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	0		適切なアセスメントツールについて情報を集め、検討します。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	0	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	0		今回は機会がありませんでした。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	0		基本送迎を行っていません。園とのやり取りは今年度はありませんでしたが、必要になった場合は丁寧に共有できる体制をとらせていただきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	0		今回はありませんでしたが、必要に応じて情報共有や相互理解を深める体制を整えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	0			

※ 「はい」「いいえ」以外の回答は、「どちらともいえない」でした。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワントゥーワン児童発達

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 2人

回収数 1人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	0	0		保育園や幼稚園に在籍している利用児が中心です。お子様たち自身が日常的に地域の子どもたちと活動する機会が多いので、こちらではあえて機会を設けていません。
保護 者へ の説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	1	0	0		全てのマニュアルを作成し、職員間での研修や訓練を定期的に行なっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	1	0	0		学期ごとに避難訓練を実施させていただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	1	0	0	マニュアルを作成しております。今後も契約時等に丁寧にご説明させていただきます。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンステップ (One to One児童発達)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 14日		2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 14日		2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達年齢からの早期療育ができること。 個別で取り組むことで関係性や保護者様とのコミュニケーションも丁寧に行える。	1対1でのご利用児、保護者様との関係性づくり。	面談の時間を増やす。 机に向っての学習だけでなく手先や動きや個別だからこそ丁寧に取り組めることも取り入れる。
2	小集団のもうすぐ1ねんせいでは、小学校に向けての準備、小学校への入学への不安が少しでもなくなるサポートを心がけている。	もうすぐ1ねんせいでは、環境づくりから小学校でこれから経験することを楽しく体験できるように工夫している。	回数を増やしたり、利用時間を伸ばしたりして、活動内容を充実させる。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	もうすぐ1ねんせいでは、12月からの開始で3月までという短い関わりで終了のご利用児もいる。	定員の問題で放課後デイサービスにつながらないこと。	もうすぐ1ねんせいご利用児のその後の様子なども聞き取ったり、相談できる場所であることを伝える。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
フントゥーワン		令和8年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0		法人に対しての外部評価は行っておりますが、事業所では第三者による外部評価を行っておりません。今後は事業所に対しても外部評価を行うように検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	0		地域のお子さんとの交流を望まれない保護者様やお子さんがいらっしゃいます。また、個別療育が中心ですので、その機会がありません。特にご要望のあった場合、プログラム実施を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			

※ 「はい」「いいえ」以外の回答は、「どちらともいえない」でした。

・ (32)こちらから出向いての交流はない。社内の外部参加可能のイベントに参加してくれたことで関わる事ができているかもしれない。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	フントゥーワン
------	---------

公表日 2026年 3月 31日

23 (ご兄弟のご利用の場合、カウントはご兄
回収数 弟で1つ)

利用児童数 55人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1	0	0		個別療育が中心の事業所ですので、大きな活動スペースは特に設けておりません。活動によって個室や別のスペースを利用するなど工夫しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3	0	0	とても頼りになる素敵な先生が多いので、もっと人数が増えて欲しいです。そして、受け入れの人数を増やして欲しいです。	職員の配置基準につきましては、基準を十分満たしております。1日の受け入れ定員が10名と定められておりますので、今後も適切な人員体制を維持しながら、安心してご利用いただけるよう、10名の受け入れが維持できるよう、努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	6	0	0		現在は、階段の上り下りが困難なお子さまの受け入れがありません。今後、受け入れのご相談をいただいた際には、環境整備や支援体制を整え、1階でのご利用の検討も含め、適切に対応してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		アセスメントシート等を用いたり、事前に面談をさせていただいたりしながら、個別支援計画を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	0	0		ガイドラインに基づき、すべての項目について設定しております。アセスメントや面談で聞き取りをさせていただいたうえで、利用計画を踏まえて具体的に設定するように心がけております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2	0	0		個別支援計画をもとに支援を行っておりますが、途中でご希望や目標が変更になった場合は、その都度、計画を立て直しております。ご遠慮なくご要望ください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	4	0	0		個別療育、小集団プログラムの中で、それぞれ活動プログラムは固定化されないよう工夫しております。繰り返しが必要なプログラムについては継続して取り組むことがあります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	10	4	0		地域のお子さんと一緒に活動することを望まない保護者様、お子さまご本人も多いです。活動を望まれるお子さまについては、集団療育への移行をお勧めしたり、小集団の活動を企画するなどしたりして、機会を設けていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		毎回、特別なプログラムの際には、事前に内容やご負担等についてご説明するようにしております。ご質問やご意見がございましたら、お知らせください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1	0	0		支援前に公式LINEでやり取りさせていただいたり、当日プログラム後支援の内容のフィードバックを行うなどして共通理解できるように努めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0		年に1回、面談の機会を設けているほか、ご希望があれば、その都度面談を実施しております。いつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		職員の対応や支援へのご意見がございましたら、いつでもお知らせください。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	10	0	0		保護者様ごみの活動、きょうだい同士の交流の機会やイベントについては現在ご要望がございません。支援者も含めた保護者様との活動、交流会、勉強会(Loop)は定期的に開催しております。ぜひご参加ください。また、保護者様やきょうだいの交流等ご希望がございましたら、お知らせください。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3	0	0		お子さま、保護者様のご相談やお申し入れに対しては、緊急に面談や支援の検討の話し合いをしております。対応についてのご意見はご遠慮なくお知らせください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	0	無回答1人	十分配慮するように気をつけておりますが、足りないと思われる場合はお知らせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	3	0	0		連絡に関しては公式LINE、お申込みにつきましてはラクソウ、その他、事業所の活動内容の発信につきましてはインスタグラムや個別に公式LINEに送らせていただいております。ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	0	0		すべてのマニュアルを作成しております。また、さまざまな訓練を実施しております。地震、火災発生を想定した避難訓練は避難訓練週間を設けております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	5	0	0		今年度、事故や怪我はありませんでしたが、発生した際には速やかにご連絡、ご報告いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1	0	0		通所が難しい場合は、お知らせください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0		ご要望やご意見がございましたら、いつでもお知らせください。

・いつもありがとうございます！！感謝しなないです！

・分からない箇所は「どちらともいえない」を選択しました

・いつも子供達がお世話になりありがとうございます。
専門的な知識のある先生が沢山いらっしゃり、安心して子供達をお任せしています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンステップ (One to One)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 14日		～ 2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 2月 14日		～ 2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	個々の特性や課題に応じてアプローチできるように、様々な学習教材や方法を日々探求している。	目的別小集団やワンステップの集団と情報等共有し、個別支援で習得した課題を集団で落とし込めるよう、職員間で共有、連携していく。 不定期で個別の担当者の変更を行い、プログラム課題の評価やアドバイスをし、プログラムを多角的に捉え、固定化しないようにする。 支援の幅を広げるため、支援者がこれまで担当したことのない学年や特性を持つ利用児を担当する。
2	日頃から利用児の状況を保護者様と伝え合っている。 利用児のそのときどきの状況、状態、健康、発達について共通理解ができている。	利用児の状態等において、保護者様からお電話や公式LINEで、様子を聞かせてもらっている。 こちらからも利用日の取り組みや使用した教材、プリント等お知らせしている。	ご利用日でなくても、利用児の状況等について、お知らせいただけることを周知するようにする。支援後のご報告について、もっと時間をかけての共有をご希望の際には、別日に面談を実施できることもお伝えする。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流の機会がない。	地域の他の子どもとの交流を望まない保護者様や利用児がいらっしゃるため。個別の支援が中心のため。	地域の他の子どもとの交流を望んでいる利用児については、地域交流ができるプログラムを考えてお誘いする。
2	父母の会や保護者会等、保護者同士の交流の機会が少ない。 きょうだい向けイベントは開催していない。	LooP (保護者様と支援員の学びと集いの場) のイベントとして勉強会その他、茶話会の実施なども試みているが、保護者様のご家庭のご事情や就労により、参加が難しいことが増えている。	比較的参加のしやすい日時を考慮してイベントを開催したり、インフェス (無限のお祭り) にはごきょうだい児にも参加してもらいやすい工夫を考えたりし、告知にも力を入れる。
3	障害特性に応じて、バリアフリー化が行っていない。	建物の2階で支援を行うことが多いため、物理的なバリアフリーができていない。	配慮が必要な利用児は、建物1階で支援を行うことができるように部屋の空き時間を調整したり、2階の小部屋で他児が入らないようにして個室空間を保てるようにしていく。要望や必要に応じ、きめ細やかに対応できるようにする。